

第8回 大館市バリアフリーまちづくり
推進協議会 説明資料

1. パブリックコメント結果について
(資料1)(資料2)
2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について
(資料1)
(資料3-1_本編)
(資料3-2_概要版)
3. 今後のスケジュールについて
(資料1)

大館市バリアフリー基本構想パブリックコメント結果

意見募集期間	令和4年2月1日(火)～令和4年2月21日(月)
意見提出者	39人
意見件数	99件

意見内訳

計画全体、市政全体に関すること	19件
デザイン、表現に関すること	1件
道路(幅員、舗装等)に関すること	40件
除排雪に関すること	14件
公共交通に関すること	9件
まちづくり、施設に関すること	7件
交通安全に関すること	6件
公園に関すること	2件
心のバリアフリー、ソフト対策に関すること	1件

1. パブリックコメント結果について

3

パブリックコメントでいただいた意見及びその対応について(一部抜粋)

【計画全体、市政全体に関わること】 19件

意見内容	市の考え・対応
県も含めて、多様な取り組みで項目上はカバーしていると思うが、残念ながら実感できるほどは進んでいないと思う。県の取り組みで不足する部分は市独自でも動きが必要かも。	市民にバリアフリーのまちづくりが実感していただけるように、本基本構想で設定した特定事業を着実に実施していくため、大館市バリアフリーまちづくり推進協議会と協力し事業の進捗管理を行ってまいります。また併せて、新たなバリアフリー課題の検討とモデル事業の事業化を平行して検討していくことで市全体でのバリアフリー化を推進してまいります。なお、本計画の「4.4その他事業の設定結果」に市の独自事業として、民間事業者が実施するバリアフリー化について支援する「企業版バリアフリー」や新たな交通移動サービスを導入する「大館版mobiプロジェクト」など位置づけ、実施に向けて検討しております。

【道路(幅員、舗装等)に関すること】 40件

意見内容	市の考え・対応
私はやはり、道路の整備がバリアフリーの中で一番重要になると考える。高齢者や歩行困難の人には窪みや段差は大きな障害になっているだろう。	道路状況によっては、全ての人にとってバリアとなりうることから、適切に維持管理をすることが重要であり、道路管理者である国及び県、市で情報共有し、点検、修繕を計画的に実施してまいります。また、本計画の「4.3特定事業の設定結果」や「4.4その他事業の設定結果」に位置付けている大館駅東大館線歩道補修工事等の道路事業を実施すると共に、「5.2モデル事業」として重点生活関連経路のバリアフリー化を検討し、市全域でのバリアフリー化を図ってまいります。

【除排雪に関すること】 14件

意見内容	市の考え・対応
冬の道路は市街地にしか行き届いていないためか住宅街やちょっとした小道の雪かきがされておらず自動車の通行に支障をきたしているため改善を求めます。	ご意見のとおり、積雪は本市特有のバリアの一つとなっております。本計画の「5.2モデル事業」に冬期のバリアフリー化の取り組みとして、重点生活関連経路における優先的な除排雪や横断歩道の見通しの確保について、検討してまいります。また、その他の道路の除排雪についても、冬期の歩行環境整備や道路状況の適切な維持管理をするため、道路管理者である国及び県、市で情報共有し、道路パトロールをしながら適宜除排雪に努めてまいります。

【公共交通に関すること】 9件

意見内容	市の考え・対応
大館市は高齢者が多い市であるため、走らせるバスの数を増やせばもっと障がい者のかたや高齢者のかたに寄り添った、より良い街になるのではないかと考えました。	公共交通不便地域の解消や公共交通の利便性の向上について、公共交通におけるバリアフリー課題として考えております。それらの課題を解決するため、本計画の「4.4その他事業の設定結果」に「新たな交通移動サービスの導入」を新規事業として位置づけ、今後高齢者等の外出機会の創出を促進し、共生社会の実現や地域経済の活性化を図るため、協議検討を進めてまいります。

2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について

4

指摘事項	修正内容	指摘
大館市バリアフリー基本構想と上位計画等の位置づけについて追記したほうが良い	「大館市バリアフリー基本構想は、～策定します。」を追記し、上位計画との位置づけを明文化しました。	東北運輸局

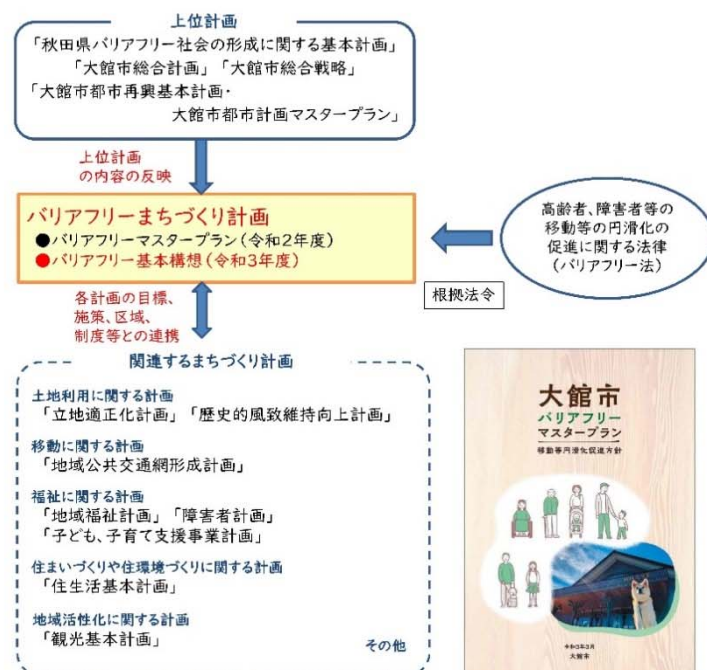
1.3 基本構想の位置付けと計画期間

大館市バリアフリー基本構想は、令和2年度に策定したバリアフリーマスタープランを踏まえ、「秋田県バリアフリー社会の形成に関する基本計画」「大館市総合計画」「大館市総合戦略」「大館市都市再興基本計画・大館市都市計画マスタープラン」を上位計画として位置づけ、根拠法令や関連計画との連携を踏まえて、重点的かつ一体的にバリアフリー化を図る構想として本計画を策定します。

バリアフリー基本構想は、毎年、施策の進捗状況の追跡調査を実施しつつ、国の方針やバリアフリー法と動向等を踏まえ5年を目途に見直しを行うこととし、令和4年度から令和8年度までの5年を計画期間とします。

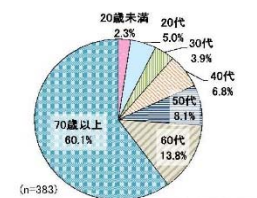
追記

▼計画の位置付け

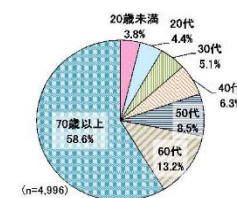


指摘事項	修正内容	指摘
子育て支援団体の団体名に誤りがある	子育て支援団体の団体名を「おおだてde子育て」に修正しました。コメント	パブリック

▼障害者アンケート回答者の年齢

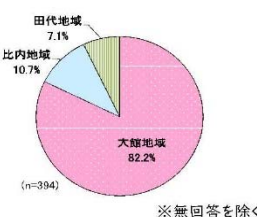


▼（参考）大館市内在住の障害者の年齢

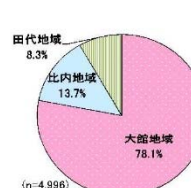


大館市の現状把握

▼障害者アンケート回答者の居住地



▼（参考）大館市内在住の障害者の居住地



(2) 関連団体ヒアリング調査

1) 目的

障害者、高齢者、子育て中の方の視点から、利用頻度が高い施設やバリアフリーに関する現状の問題点・課題を把握することを目的として実施しました。

2) 対象者

以下の障害者・高齢者・子育て支援団体を対象として行いました。

【障害者団体】

- ・大館圏域ふくし会（協議会構成員）
- ・大館市障害者自立・差別解消支援協議会（昨年度まち歩き点検に参加）

【高齢者団体】

- ・大館市老人クラブ連合会（協議会構成員）

【子育て支援団体】

- ・おおだて de 子育て（協議会構成員）

修正

2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について

5

指摘事項	修正内容	指摘
「重点整備地区等の選定フロー」について対応する文章番号を加筆したほうが重点整備地区等の考え方と位置づけがわかりやすい	重点整備地区等の考え方と位置づけが選定フロー図を見て分かるように上記文章番号を追記しました。	パブリックコメント

3. 重点整備地区等の位置付け

1.4 節において定めた「基本構想において重視すべき視点」を踏まえ、重点整備地区・共生社会参加モデル施設・特定事業・その他事業・モデル事業を以下の考え方により位置付けました。

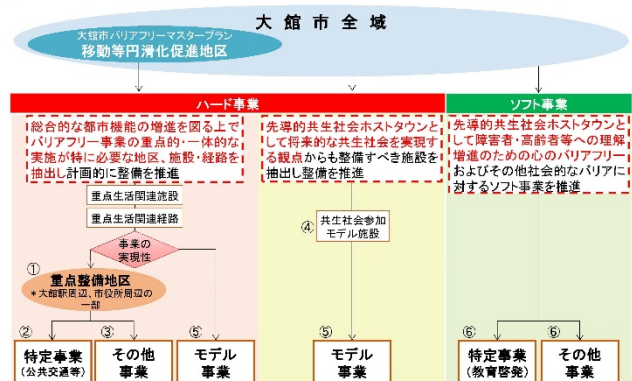
- 移動等円滑化促進地区の中から、障害者アンケート調査、関連団体ヒアリング調査等を踏まえて整備を優先すべき施設・経路を抽出し、「重点生活関連施設」「重点生活関連経路」に設定します。また、設定した重点生活関連施設・重点生活関連経路のうちバリアフリー事業の実現性の高い施設・経路を網羅する地区を「重点整備地区」に設定します。
- 重点整備地区内の重点生活関連施設・経路のバリアフリー化を具体化するためのバリアフリー法で定める6つのハード事業（公共交通特定事業等）を「特定事業」に設定します。
- 特定事業以外の重点整備地区内におけるその他のハード事業については「その他事業」として位置付け、特定事業とあわせて事業を推進します。
- 大館市全域から、先導的共生社会ホストタウンとして将来的な共生社会を実現する観点より、高齢者等の社会参加の促進に特に重要な施設を「共生社会参加モデル施設」に設定します。
- 共生社会実現のために社会参加しやすい環境づくりのための重点生活関連施設・経路及び共生社会参加モデル施設のバリアフリー化の検討事業を「モデル事業」に設定します。
- 先導的共生社会ホストタウンとして障害者・高齢者等への理解増進のための心のバリアフリーおよびその他社会的なバリアに対するソフト事業については「教育啓発特定事業」及び「その他事業」として位置付け、取り組みを推進します。

重点整備地区等の設定

重点整備地区等の設定

修正

重点整備地区・共生社会参加モデル施設・特定事業・その他事業・モデル事業の選定フロー



※番号は上記文章①～⑥に対応

指摘事項	修正内容	指摘
共生社会参加モデル施設の今後の抽出について補足したほうが良い	「今後～抽出します。」を追記し、市民の方の意見等も反映した施設の抽出を行っていくことを明文化しました。	第7回協議会

(2) 共生社会参加モデル施設

先導的共生社会ホストタウンとして将来的な共生社会を実現する観点から、高齢者、障害者及び妊産婦等の社会参加の促進に特に重要な施設を共生社会参加モデル施設として抽出します。今後は、市民の方の意見等を踏まえて、必要に応じ施設の見直しを行います。

「地域交流の促進」「観光交流の促進」「子育てしやすい環境づくり」「健康増進」の視点から、特に重要であり利用したいと考えられる施設を抽出します。

修正

共生社会参加モデル施設の抽出の考え方

【共生社会の実現に向けた課題】

地域交流の促進

観光交流の促進

子育てしやすい環境づくり

健康増進

【共生社会参加モデル施設として抽出する施設】

① 地域交流の拠点として特に重要な施設
地域でのイベントなど、多目的に利用される施設を抽出。

② 観光交流の拠点として特に重要な施設
観光客の受け入れにあたっての拠点施設を抽出。

③ 子育て世代の利用に特に重要な施設
子育て中の方の利用が見込まれる施設を抽出。

④ 健康増進を図るために特に重要な施設
健康増進のための利用が見込まれる施設を抽出。

※重点生活関連施設を除く

【先導的共生社会ホストタウン】

先導的共生社会ホストタウンは、共生社会ユニバーサルデザインのまちづくり及び心のバリアフリーの取り組みが特に先導的・先進的と認められ、内閣府より認定された自治体です。大館市は、2020年12月に秋田県内で初めて認定されました。

取り組みの一例として、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のホストタウン相手国であるタイ王国との交流をきっかけとしたバラスポーツの普及及びスポーツを通じた共生社会への理解の向上に向けた取り組みや、障害への理解を深めるための中心市街地における「バリアフリーまち歩き点検」などの取り組みを推進しています。



バラスポーツの普及及び共生社会への理解の向上に向けた取り組み
(ポッチャ交流会「はちくんオープン」の開催)



バリアフリーまち歩き点検の実施

2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について

6

指摘事項	修正内容	指摘
移動等円滑化促進地区等の凡例について区別がつきにくい	凡例別に区別がつきやすくなるように、移動等円滑化促進地区の線種・色を修正しました。	パブリックコメント

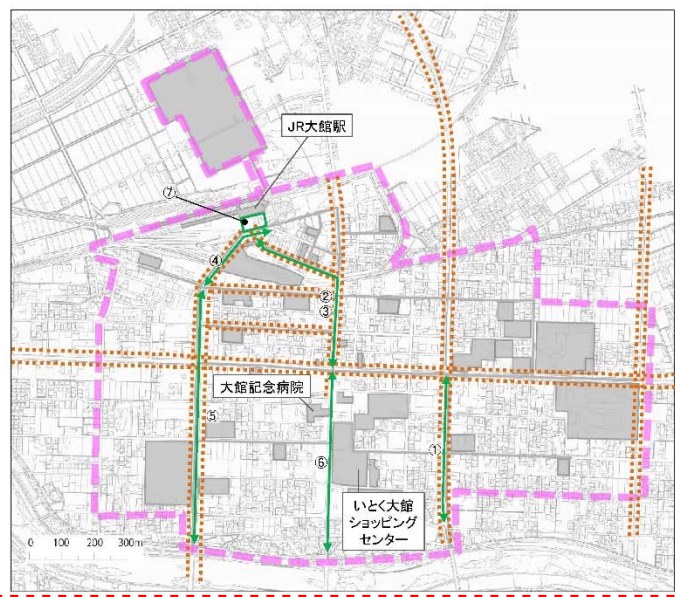
指摘事項	修正内容	指摘
重点整備地区の区域面積について追記したほうが良い	重点整備地区の区域面積がわかるように追記しました。	東北運輸局

(2) 重点生活関連経路・重点整備地区の抽出

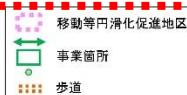
3.2 節にて示した考え方に基づき、重点生活関連施設間の歩道の整備状況等も踏まえ、重点生活関連経路を抽出し、さらにバリアフリー化事業の予定等により重点整備地区を抽出しました。

▼歩道整備箇所及びバリアフリー事業予定箇所【大館駅周辺地区】

修正



No.	事業名	事業主体
①	秋田7号電線共同溝（有浦地区）	国土交通省
②	地方道路交付金事業（雪寒）	秋田県
③	無電柱化推進計画事業	秋田県
④	（仮称）大館市無電柱化推進計画事業	大館市土木課
⑤	市道大館駅東大館線道路補修工事	大館市土木課
⑥	土地区画整理事業（御成町南地区）	大館市まちづくり課
⑦	JR 大館駅周辺整備事業	大館市企画調整課



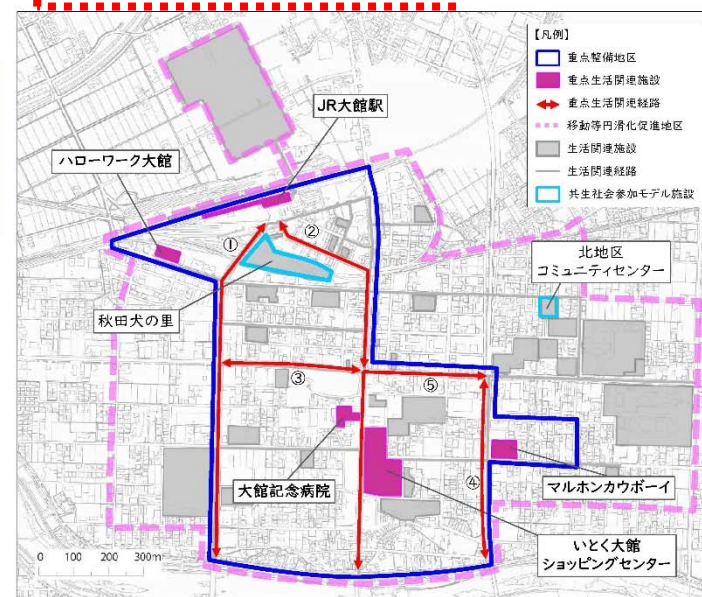
(4) 重点整備地区等の抽出結果のまとめ

重点生活関連施設・経路、重点整備地区、共生社会参加モデル施設を以下のとおり設定します。

重点整備地区は、3.2 節にて示した考え方に基づき、「大館駅周辺地区」及び「大館市役所周辺地区」の一部を設定します。

追記

▼重点生活関連施設・経路、重点整備地区、共生社会参加モデル施設の位置図【大館駅周辺地区】（重点整備地区の面積：約74ha）



▼重点生活関連施設【大館駅周辺地区】

施設名
JR 大館駅
ハローワーク大館
大館記念病院
いとく大館ショッピングセンター
マルホンカウボーイ大館店

▼重点生活関連経路【大館駅周辺地区】

No.	経路名
①	大館駅東大館線
②	主要地方道 大館停車場線
③	御成町片山根下戸線
④	一般国道7号
⑤	主要地方道 大館・十和田湖線

▼共生社会参加モデル施設【大館駅周辺地区】

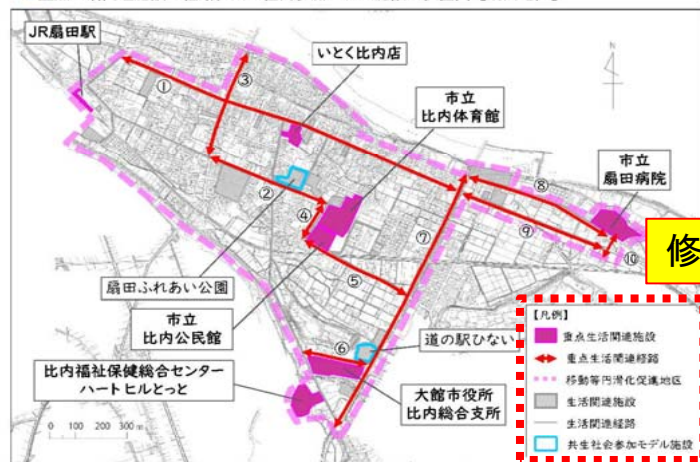
施設名
北地区コミュニティセンター
秋田犬の里

2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について

7

指摘事項	修正内容	指摘
重点整備地区が設定されていない地区については凡例を修正したほうが良い	重点整備地区が設定されていない地区については誤解を与えないように凡例を修正しました。	パブリックコメント

▼重点生活関連施設・経路、共生社会参加モデル施設の位置図【扇田地区】



修正

▼重点生活関連施設【扇田地区】

施設名
JR 扇田駅
大館市役所比内総合支所
市立比内公民館
市立扇田病院
比内福祉保健総合センター ハートビルとっと(比内町福祉セ ンターデイサービス、介護サービ スセンターひないデイサービス)
いとく比内店
市立比内体育館

▼重点生活関連経路【扇田地区】

No.	経路名
①	主要地方道 比内・田代線
②	学校通り線
③	水無扇田線
④	南丁団地線
⑤	比内公民館通り線
⑥	新大堤下線
⑦	一般国道 285 号
⑧	東雲線
⑨	扇田十二所線
⑩	病院線

▼共生社会参加モデル施設【扇田地区】

施設名
道の駅ひない
扇田ふれあい公園

指摘事項	修正箇所	指摘
①目標時期の項目に継続的に実施する事業を記載することは表現的に分かりにくい	新たに継続実施の項目を設け、継続的に実施する事業を別途記載し分かりやすくしました。	第7回協議会
②その他事業「成年後見制度利用促進に係る体制を整備」の内容を修正	認知症等の高齢者だけではなく知的障害、精神障害等への支援体制についても強化する内容に修正し、事業者を長寿課及び福祉課と修正しました。	事務局

事業の分類	施策 内容	目標時期				継続実施
		①修正 短期 (R4- R5)	中期 (R6- R13)	長期 (R14- R18)		
社会	情報のバリアフリー化を図る ・声の広報、点字の広報を発行することで情報のバリアフリー化を図る。 ・ホームページの音声ブラウザに対応することで情報のバリアフリー化を図る。	市内	大館市 総務課			○
	②修正 成年後見制度利用促進に係る体制を整備 ・認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が不十分であるために法律行為における意思決定が困難な高齢者等を支援する体制の強化を目指す(成年後見制度利用促進計画に基づき、大館市成年後見支援センターを設置し、制度利用の周知、相談対応を実施)。	市内	大館市 長寿課 /福祉課			○
社会	障害者に対する社会適応訓練等の実施 ・生活訓練や社会適応訓練等の実施。	市内	大館市 福祉課			○
社会	商店街環境整備等事業(福祉連携整備事業) ・賑わいを創出する事業の一環として、商店街のバリアフリー化を促進するための施設等の整備を支援。	市内	大館市 商工課			○
社会	空き店舗等利活用事業 ・賑わいを創出する事業の一環として、空き店舗等を顧客の誘引効果が高い施設として利活用する場合、その改修(バリアフリー化を含む)を支援する。	市内	大館市 商工課			○
社会	高齢者の社会進出への支援 ・高齢者のインターンシップ受入れ支援、(高齢者及び企業向け)高齢者活用促進セミナーの開催。	市内	大館市 高齢者活躍 支援協議会 (事務局: 商工課)			○
社会	乳幼児健診等の受診者に対する支援 ・保健センターで実施する乳幼児健診や相談の時に、子どもの見守りや会場案内を実施することで、受診者を支援する。	保健 セン ター	大館市 健康課			○

特定事業

2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について

8

指摘事項	修正箇所	指摘
重点生活関連経路などにおける除雪の扱いなど冬期のバリアへの対応についても検討したほうが良い	重点生活関連経路における優先的な除排雪、横断歩道の見通しの確保等についてより重点的な実施を推進していくため、新たにモデル事業として「冬期のバリアフリー化の取り組み」を追記しました。	第7回協議会

▼冬期のバリアフリー化の取り組み

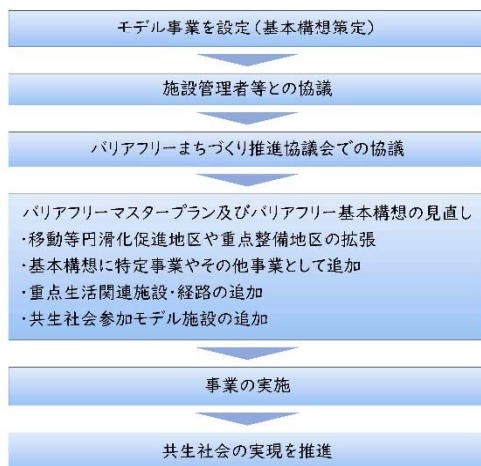
追加

内容	対象	事業者
・冬期の暮らし・交流の場として活用可能な施設等の整備を検討する	市内	施設管理者
・優先的な除排雪、横断歩道の見通しの確保等について、より重点的な実施を推進する	重点生活関連経路	道路管理者

5.3 モデル事業に関する今後の展開

モデル事業については、施設管理者等やバリアフリーまちづくり推進協議会での協議を行い、協議結果を踏まえて必要に応じバリアフリーマスタープラン及びバリアフリー基本構想を見直した上で事業を進め、市全体としての共生社会の実現を目指します。

▼モデル事業に関する今後の展開



モデル事業

指摘事項	修正箇所	指摘
①その他事業へ「ゴールドパス及び運転免許返納ゴールドパスの販売」を追加	社会的なバリアに対するソフト事業を推進するため、高齢者や運転免許証の返納者に対するバスの定期券の販売をする「ゴールドパス及び運転免許返納ゴールドパスの販売」をその他事業に追加しました。	事務局
②その他事業へ「新たな交通移動サービスの導入」を追加	社会的なバリアに対するソフト事業を推進するため、高齢者等の外出機会の創出を促進し共生社会の実現や地域経済の活性化を図るため、新たな交通移動サービスを導入する「新たな交通移動サービスの導入（新規）【大館版mobiプロジェクト】」をその他事業に追加しました。	事務局

交通・移動	ゴールドパス及び運転免許返納ゴールドパスの販売 ・65歳以上的高齢者に対し、右記事業者が運行する般路線バス全路線が乗り放題となる定期券（ゴールドパス）を販売。 ・運転免許返納後1年以内の高齢者であれば、さらに割引価格の定期券（運転免許返納ゴールドパス）を販売。	市内	秋北バス（株）				○
交通・移動	在宅の高齢者の通院などの福祉タクシーの利用料金をする支援 ・宅の高齢者（非課税世帯の65歳以上・要介護4又は5）の通院等について福祉タクシーの利用料金の全部又は一部を助成する。	市内	大館市長寿課				○
交通・移動	高齢者に対するバス券の交付 ・通院のために遠隔地から定期的にバスを利用する高齢者（非課税世帯の65歳以上）に対してバス運賃の一部を助成する。	市内	大館市長寿課				○
交通・移動	「大館市得とく定期券」の販売金額の一部を支援 ・「大館市得とく定期券」を購入する高齢者及び障害者の販売金額の一部を扶助する。	市内	大館市都市計画課				○
交通・移動	低床バスの導入に対する支援 ・乗合バス事業者に低床小型バス購入費用の一部を貸し、低床車両の導入を支援する。	市内	大館市都市計画課				○
交通・移動	バリアフリー環境整備の推進 ・設計の段階でバリアフリー設備基準を確認し、バリアフリー環境の整備に努める。	JR大館駅	東日本旅客鉄道（株）				○
交通・移動	新たな交通移動サービスの導入（新規） 【大館版mobiプロジェクト】 ・高齢者等の外出機会の創出を促進し、共生社会の実現や地域経済の活性化を図るため、新たな交通移動サービスを導入する。	市内	大館市都市計画課	協議検討			

①追加

②追加

特定事業

2. 大館市バリアフリー基本構想最終案について

9

大館版mobiプロジェクトについて

【目的】

人口減少や少子高齢化が進行し、公共交通サービスの低下が懸念される状況下であっても、先導的共生社会ホストタウンとして高齢者・障害者・子育て世代などが社会参加しやすい環境を実現するため「大館版mobiプロジェクト」を検討しています。

【mobiとは】

半径約2kmのエリア内移動が定額乗り放題となる、「ちょっとした移動」に利用できる新しい交通サービスです。アプリや電話による配車依頼を受けると、AIが予約状況や道路状況をもとに最適なルートを設定し、運行します。

【期待される効果】

- ・高齢者、障害者等の積極的な外出機会の創出
- ・公共交通空白地域の解消による、移動格差の解消
- ・新規サービス利用の波及効果による、他公共交通機関の利用促進
- ・他公共交通機関との相乗効果による、市民の利便性向上
- ・外出する人が増えることによる、地域経済の活性化

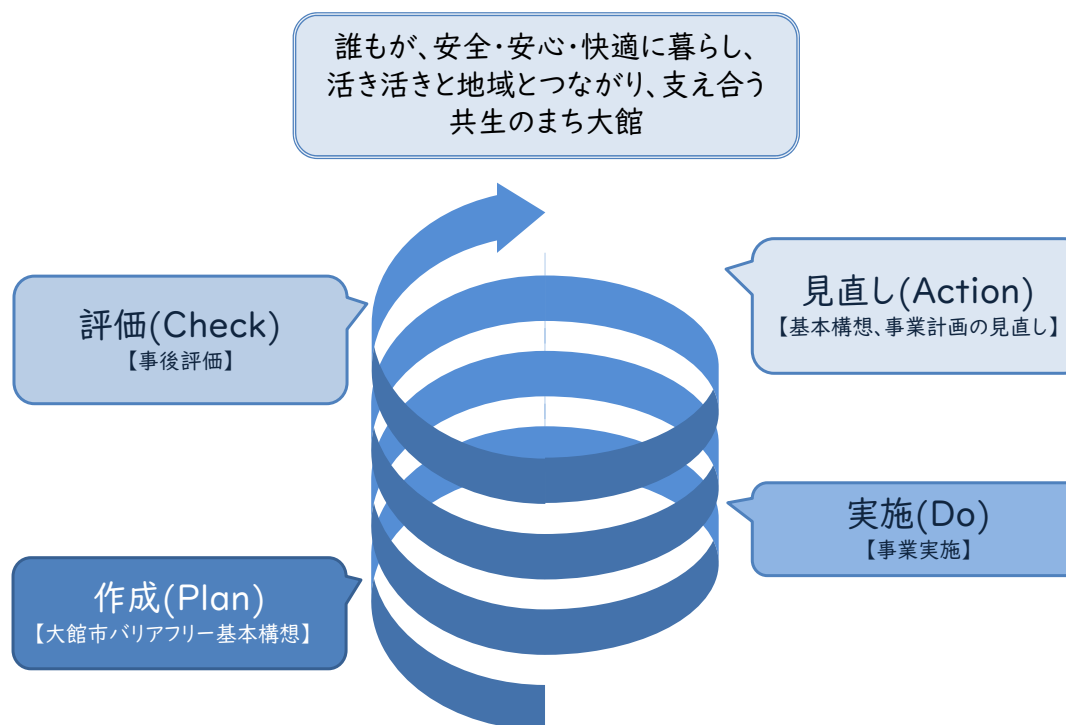


3. 今後のスケジュール

10

基本構想の策定後も下記のPDCAサイクルにより事業スケジュールの適切な管理と改善を図ることで、バリアフリー化を推進する。

- 基本構想策定後も継続的に「大館市バリアフリーまちづくり推進協議会」を開催し、取り組みの進捗管理や課題の洗い出し等の状況の共有と課題に対する改善案の検討を行う。
- 上位関連計画や関連するまちづくり事業の状況を踏まえ、必要に応じて基本構想の見直しを行う。
- 基本構想作成時に設置した協議会を進行管理を担う中心的な組織として位置づけ、特定事業計画で策定されたスケジュールと実際の進捗状況及び新たなバリアフリーの課題について把握し、整備促進のための管理を行う(年1～2回を予定)。
- 計画の最終年(5年目)には、特定事業等の実施により利便性が向上したかを評価するとともに、新たなニーズと課題の確認を行う事後評価を実施する。



3. 今後のスケジュール

11

